

## 県立大と静岡文化芸術大教授ら

### 浜松聖星高で出張講義

県立大と静岡文化芸術大の教授、准教授ら6人が21日、浜松市中央区の浜松聖星高で出張講義を行った。1、2年生計約160人が、栄養やデザイン、国際関係など6分野から講義を選択して聴講した。

栄養分野では、県立大食品栄養科学部の伊藤圭祐准教授が、舌が食品の味を感じる仕組みや風味の定義などを説明した。鼻をつまみながらチューリングキャンデーを味わうミニ実験も行い、香りの重要性を解説した。

デザイン分野の講義では静岡文化芸術大の長嶋洋一教授が、同大の学生らが製作したアニメーション作品を紹介した。

出張講義は、生徒の

進路への意識や、両大学への関心を高めたい。



大学教員が授業を行った出張講義  
＝浜松市中区の浜松聖星高